

広島市報

号外第4号
令和2年3月30日

発行所
広島市役所
(企画総務局法務課)

広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

公営企業の業務状況の報告

公 告

令和2年3月9日

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2の規定に基づき、広島市水道事業、広島市下水道事業及び広島市安芸市民病院事業の業務の状況の次のとおり公表します。

広島市長 松井 一 實

目 次

○令和元年度第1回広島市水道事業の業務状況	1
○令和元年度第1回広島市下水道事業の業務状況	12
○令和元年度第1回広島市安芸市民病院事業の業務状況	23

令和元年度第1回広島市水道事業の業務状況

1 事業の概況

令和元年度上半期（平成31年4月1日から令和元年9月30日まで）における水道事業の概況は、次のとおりです。

(1) 給水の状況

ア 給水戸数及び給水人口

今期末における給水戸数は58万4,389戸、給水人口は1,233,475人で、これを前年度同期と比較すると、給水戸数では5,427戸（0.9%）の増加、給水人口では644人（0.1%）の増加となっています。

また、普及率は98.1パーセントとなっています。

区 分		令和元年度	平成30年度	比 較	
		上 半 期	上 半 期	増 △ 減	増減率(%)
給水戸数	戸	584,389	578,962	5,427	0.9
給水区域内人口(A)	人	1,256,932	1,256,900	32	0.0
給水人口(B)	人	1,233,475	1,232,831	644	0.1
普及率(B/A×100)	%	98.1	98.1	0.0ポイント	-

イ 給水量

給水量は6,753万6,539立方メートルで、これを前年度同期と比較すると、73万2,753立方メートル（1.1%）の減少となっています。

また、一日最大給水量は39万7,333立方メートル

となっています。

区 分		令和元年度	平成30年度	比 較	
		上 半 期	上 半 期	増 △ 減	増減率(%)
給水量	m ³	67,536,539	68,269,292	△ 732,753	△ 1.1
一日平均給水量	m ³	369,052	373,056	△ 4,004	△ 1.1
一日最大給水量	日	7月4日	7月19日	-	-
	m ³	397,333	417,293	△ 19,960	△ 4.8

(2) 主要施策の実施状況

ア 安全でおいしい水の供給

水源からお客さまの蛇口に至るまでの水質管理体制の強化を図るとともに、安心な水を安定的に使用していただくよう、未配管路線への配水管路の整備に取り組みます。

また、豊かな清流である太田川を次世代へ引き継いでいくため、「広島市・太田川源流の森」の水源かん養林を整備するとともに、高効率機器を導入するなど環境に配慮した施設整備による省エネルギーを推進し、環境負荷の低減を図ります。

事 業 内 容	令和元年度 事業費	今期事業費
	円	円
安全でおいしい水の供給	708,319,000	302,692,720
水質管理体制の強化	66,885,000	23,752,198
水質監視・保安体制の確保	23,061,000	0
水質検査体制の強化	29,973,000	23,752,198
残留塩素濃度の低減・監視	13,851,000	0
安心な水の安定供給	538,548,000	277,514,522
配水施設の機能向上	538,548,000	277,514,522
環境負荷の低減	102,886,000	1,426,000
水源かん養林の整備	7,208,000	0
流域自治体との連携	1,442,000	1,426,000
省エネルギーの推進	94,236,000	0

注：事業費については前年度からの繰越分を含む。

イ 水道施設の更新・改良

施設の更新・改良については、浄水・配水施設の統廃合として、老朽化が進む府中浄水場の廃止に向けた関連整備を推進します。また、構造物や機械及び電気設備は、点検・補修による長寿命化を図った上で、計画的な更新を推

進めます。さらに、施設の更新に併せて耐震化や維持管理効率の向上を図ります。

管路の更新については、点検や漏水防止調査の結果を活用して管路を評価し、優先順位を設定した上で計画的な更新を推進します。また、実施に当たっては、すべて耐震管を採用し、管路の耐震化を図ります。

事業内容	令和元年度 事業費	今期事業費
	円	円
水道施設の更新・改良	8,641,695,000	4,227,077,401
施設の更新・改良	4,183,539,000	1,223,286,672
浄水・配水施設の統廃合	1,071,619,000	180,984,384
構造物の更新・改良	1,417,370,000	327,258,372
機械及び電気設備の更新・改良	1,607,057,000	715,043,916
効率的な運転管理体制の構築	87,493,000	0
管路の更新	4,458,156,000	3,003,790,729
管路の更新	4,414,261,000	2,933,052,176
漏水防止の推進	43,895,000	70,738,553

注：事業費については前年度からの繰越分を含む。

ウ 災害対策の充実

地震による被害を最小限にとどめるため、構造物の耐震化や、災害拠点病院等の重要給水施設への配水管路の耐震化を推進します。

また、事故や災害に備えて配水幹線の相互連絡管等のバックアップ施設を整備するとともに、停電に備えて自家発電設備等により非常用電源を確保します。

さらに、水道施設が被災した直後においても必要最低限の飲料水を確保できるよう応急用資機材の整備等に取り組みます。

事業内容	令和元年度 事業費	今期 事業費
	円	円
災害対策の充実	2,010,689,000	1,282,511,165

ア 収 入

区 分	令 和 元 年 度		執行率	前年度同期収入額	比 較	
	予 算 額	今期収入額			増 △ 減	増減率
水 道 事 業 収 益	円 26,193,014,000	円 12,583,586,061	% 48.0	円 12,540,244,597	円 43,341,464	% 0.3
営 業 収 益	23,058,031,000	11,090,654,004	48.1	11,145,524,553	△ 54,870,549	△ 0.5
給 水 収 益	20,664,697,000	10,222,171,363	49.5	10,374,542,103	△ 152,370,740	△ 1.5
受 託 工 事 収 益	866,851,000	111,379,273	12.8	41,207,134	70,172,139	170.3
そ の 他 の 営 業 収 益	1,526,483,000	757,103,368	49.6	729,775,316	27,328,052	3.7
業 務 受 託 収 入	1,414,064,000	756,380,303	53.5	729,662,366	26,717,937	3.7
そ の 他	112,419,000	723,065	0.6	112,950	610,115	540.2

水道施設の耐震化		576,353,000	260,552,146
構造物の耐震化	伴南調整池の耐震補強等	204,073,000	107,897,235
重要給水施設への配水管路の耐震化	広島市民病院等への配水管路の耐震化	372,280,000	152,654,911
バックアップ機能の強化		1,419,385,000	1,009,701,003
バックアップ施設の整備	相互連絡管の整備等	928,390,000	800,478,601
非常用電源の確保	高陽浄水場自家発電設備の整備等	490,995,000	209,222,402
応急対策の推進		14,951,000	12,258,016
飲料水の確保	沼田調整池緊急遮断弁の設置	5,674,000	7,455,965
応急用資機材の整備	応急給水用資機材の整備	9,277,000	4,802,051

注：事業費については前年度からの繰越分を含む。

エ 平成30年7月豪雨災害復旧

平成30年7月豪雨災害に係る復旧に当たっては、改良復旧を図るとともに、この度の災害を踏まえた補強等の対策を推進します。

事業内容	令和元年度 事業費	今 期 事業費
	円	円
平成30年7月豪雨災害復旧	1,052,063,000	593,900,224

注：事業費については前年度からの繰越分を含む。

2 経理の状況

令和元年度上半期の経理状況は、次のとおりです。

(1) 収益的収入及び支出

今期の収益的収入は125億8,358万6,061円で、前年度同期と比較すると、4,334万1,464円(0.3%)の増加となっています。

この主な理由は、開発地配水設備金の増に伴う営業外収益の増加によるものです。

一方、収益的支出は97億2,138万9,789円で、前年度同期と比較すると、1,388万6,448円(0.1%)の減少となっています。

この主な理由は、企業債残高の減に伴う支払利息及び企業債取扱諸費の減少によるものです。

営業外収益	3,134,287,000	1,487,430,020	47.5	1,386,826,652	100,603,368	7.3
特別利益	696,000	5,502,037	790.5	7,893,392	△ 2,391,355	△ 30.3

イ 支 出

区 分	令 和 元 年 度		執行率	前年度同期支出額	比 較	
	予 算 額	今期支出額			増 △ 減	増減率
水道事業費用	円 25,473,927,000	円 9,721,389,789	% 38.2	円 9,735,276,237	円 △ 13,886,448	% △ 0.1
営業費用	23,380,072,000	9,133,760,779	39.1	9,074,634,086	59,126,693	0.7
職員給与費	5,158,322,000	2,017,633,689	39.1	2,000,512,361	17,121,328	0.9
受水費	2,149,271,000	892,449,424	41.5	907,894,861	△ 15,445,437	△ 1.7
委託・補修費	3,033,490,822	877,721,313	28.9	860,078,680	17,642,633	2.1
動力・薬品費	1,441,543,000	682,766,358	47.4	649,652,598	33,113,760	5.1
減価償却費	8,287,623,000	4,143,811,500	50.0	4,093,626,500	50,185,000	1.2
その他	3,309,822,178	519,378,495	15.7	562,869,086	△ 43,490,591	△ 7.7
営業外費用	2,057,374,000	583,693,459	28.4	639,433,972	△ 55,740,513	△ 8.7
支払利息及び 企業債取扱諸費	1,260,362,000	580,797,035	46.1	636,714,757	△ 55,917,722	△ 8.8
その他	797,012,000	2,896,424	0.4	2,719,215	177,209	6.5
特別損失	26,481,000	3,935,551	14.9	21,208,179	△ 17,272,628	△ 81.4
予備費	10,000,000	0	0.0	0	0	-

(2) 資本的収入及び支出

今期の資本的収入は1,858万453円で、前年度同期と比較すると、3億3,062万3,386円(94.7%)の減少となっています。

一方、資本的支出は48億6,687万2,129円で、前年度同期と比較すると、5,013万4,101円(1.0%)の減少となっています。

ア 収 入

区 分	令 和 元 年 度		執行率	前年度同期収入額	比 較	
	予 算 額	今期収入額			増 △ 減	増減率
資本的収入	円 8,084,035,000	円 18,580,453	% 0.2	円 349,203,839	円 △ 330,623,386	% △ 94.7
企業債	7,525,600,000	8,700,000	0.1	330,900,000	△ 322,200,000	△ 97.4
出資金	101,201,000	0	0.0	0	0	-
補助金	118,216,000	0	0.0	0	0	-
受託建設収入	162,096,000	0	0.0	18,303,839	△ 18,303,839	皆減
工事負担金	176,794,000	9,880,453	5.6	0	9,880,453	皆増
その他資本的収入	128,000	0	0.0	0	0	-

イ 支 出

区 分	令 和 元 年 度		執行率	前年度同期支出額	比 較	
	予 算 額	今期支出額			増 △ 減	増減率
資本的支出	円 17,760,733,000	円 4,866,872,129	% 27.4	円 4,917,006,230	円 △ 50,134,101	% △ 1.0
建設改良費	12,021,464,000	2,260,641,701	18.8	2,059,128,031	201,513,670	9.8
第7期拡張費(Ⅲ期)	0	0	-	54,328,843	△ 54,328,843	皆減
配水施設整備費	10,636,743,392	1,984,902,602	18.7	1,893,892,852	91,009,750	4.8
浄水施設整備費	990,359,000	141,185,105	14.3	44,013,191	97,171,914	220.8
受託建設費	154,482,000	13,205,925	8.5	23,020,206	△ 9,814,281	△ 42.6
諸設備新設費等	239,879,608	121,348,069	50.6	43,872,939	77,475,130	176.6
企業債償還金	5,731,032,000	2,606,230,428	45.5	2,857,137,458	△ 250,907,030	△ 8.8
補助金返還金	8,237,000	0	0.0	740,741	△ 740,741	皆減

3 資産、企業債、長期借入金及び一時借入金の現在高
令和元年9月30日現在の資産、企業債、長期借入金及び一時借入金の現在高は、次のとおりです。

(1) 資産	
ア 固定資産	212,735,902,016円
イ 流動資産	13,661,693,785円
計	226,397,595,801円
(2) 企業債	
67,067,744,918円	
(3) 長期借入金	
0円 (借入れなし。)	
(4) 一時借入金	
0円 (借入れなし。)	

4 平成30年度決算の状況
平成30年度決算は、次のとおりです。

(1) 総括事項
水道は、お客さまの生命や健康に直接関わる重要なライフラインであるため、将来にわたって給水の安全性・安定性を確保していく必要があります。

このため、本市では、持続可能な水道システムの構築に向けて、平成30年度から令和3年度までの4か年を計画期間とする中期経営計画を策定し、「安全でおいしい水の供給」、「水道施設の更新・改良」、「災害対策の充実」を主要施策として掲げ、計画的な施設整備を推進しています。

また、新たに「平成30年7月豪雨災害復旧」を主要施策の一つに加え、水道施設の改良復旧を図ることにしました。

平成30年度は、この基本方針に沿って主要施策を推進するとともに、効率的な経営に努めました。

(2) 業務状況
平成30年度の業務量は、下表のとおりです。

区 分	単 位	平成30年度	平成29年度	対前年度 増 △ 減	対前年度 伸び率(%)
給水戸数	戸	581,085	575,592	5,493	1.0
給水区域内人口(A)	人	1,255,471	1,254,645	826	0.1
給水人口(B)	人	1,232,014	1,230,576	1,438	0.1
普及率 $\frac{(B)}{(A)}$	%	98.1	98.1	0.0ポイント	-
年間給水量(C)	m ³	134,636,463	135,079,732	△ 443,269	△ 0.3
年間有取水量(D)	m ³	127,236,530	127,697,642	△ 461,112	△ 0.4
有取率 $\frac{(D)}{(C)}$	%	94.5	94.5	0.0ポイント	-

(3) 主要施策
平成30年度に施行した主な事業内容は、次のとおりです。

ア 安全でおいしい水の供給
水質管理体制の強化として事業費7,197万4,160円で、水質検査機器及び残留塩素計の整備等を行いました。

安心な水の安定供給として事業費3億6,566万7,704円で、5,714メートルの配水管路の整備等を行いました。

環境負荷の低減として事業費4,015万7,716円で、水源かん養林の整備及び高効率機器の導入等を行いました。

イ 水道施設の更新・改良
施設の更新・改良として事業費22億2,184万4,901円で、施設の統廃合の関連整備及び取水・浄水・配水施設の更新・改良等を行いました。

管路の更新として事業費21億3,226万6,534円で、2万935メートルの铸铁管・ビニル管の更新等を行いました。

ウ 災害対策の充実
水道施設の耐震化として事業費1億1,301万630円で、耐震改修工事等を行いました。

バックアップ機能の強化として事業費12億1,664万836円で、相互連絡管の整備等を行いました。

応急対策の推進として事業費598万4,820円で、応急給水用資機材の整備を行いました。

エ 平成30年7月豪雨災害復旧
平成30年7月豪雨災害復旧として事業費2億5,975万6,097円で、配水管等復旧工事を行いました。

(4) 財政状況

ア 収益的収支
収益的収支は、事業活動に伴う水道料金を主体とした収入とそれに対応する維持管理費等の支出を計上していません。

平成30年度の収益的収入は238億9,785万8,651円で、平成29年度と比較して、0.3パーセントの増加となりました。

一方、収益的支出は220億599万9,884円で、平成29年度と比較して、1.4パーセントの増加となり、差引き18億9,185万8,767円の純利益を生じました。

イ 資本的収支
資本的収支は、水道施設の整備を行うために必要な企業債等の収入と建設改良費及び企業債償還金等の支出を計上しています。

平成30年度の資本的収入は35億9,547万8,740円で、これに対して、資本的支出は116億1,491万4,373円で、差引き80億1,943万5,633円の資金不足を生じました。

この不足額は、当年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

ウ 利益剰余金
平成29年度末の利益剰余金に、資本金への組入額を減じ、平成30年度の純利益を加算した結果、平成30年度末の利益剰余金は103億2,443万2,285円となりました。

なお、資金残高は、平成30年度末の利益剰余金から平成30年度の建設改良積立金取崩額11億8,289万1,291円を差し引いた91億4,154万994円となりました。

平成30年度広島市水道事業決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

収 入

区 分	予 算 額			決算額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条第3項の規定 による支出額及び第26条第2項の規 定による繰越額に係る財源充当額			
第1款 水道事業収益	25,862,194,000	114,577,000	0	25,976,771,000	△ 373,206,236	
第1項 営業収益	22,662,212,000	0	0	22,662,212,000	△ 243,959,192	〔うち、仮受消費税及び地方消費税 1,644,318,364円〕
第2項 営業外収益	3,199,286,000	114,577,000	0	3,313,863,000	△ 129,820,259	〔うち、仮受消費税及び地方消費税 63,114,287円〕
第3項 特別利益	696,000	0	0	696,000	573,215	〔うち、仮受消費税及び地方消費税 73,708円〕

支 出

区 分	予 算 額				決算額	地方公営企業 法第26条第2 項の規定によ る繰越額	不 用 額	備 考
	当初予算額	補正予算額	予備費流 出額	地方公営企業 法第24条第3 項の規定によ る支出額				
第1款 水道事業費用	24,420,179,000	402,934,000	0	24,823,113,000	23,307,565,407	255,995,000	1,409,797,593	
第1項 営業費用	22,201,148,000	402,934,000	0	22,604,082,000	21,170,553,664	255,995,000	1,327,778,336	〔うち、仮払消費税及び地 方消費税 587,563,709円〕
第2項 営業外費用	2,128,277,000	0	0	2,128,277,000	2,069,886,127	0	58,390,873	〔うち、仮払消費税及び地 方消費税 328,604円〕
第3項 特別損失	80,754,000	0	0	80,754,000	67,125,616	0	13,628,384	〔うち、仮払消費税及び地 方消費税 579,826円〕
第4項 予備費	10,000,000	0	0	10,000,000	0	0	10,000,000	

(収 入) (支 出)

25,603,564,764円 - 23,307,565,407円 = 2,295,999,357円
 当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 △ 344,235,584円
 貯蔵品購入に係る消費税及び地方消費税仕入控除額等 △ 59,905,006円
 純 利 益 1,891,858,767円

(2) 資本的収入及び支出
収 入

区 分	予 算 額				決算額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法 第26条の規定に 係る繰越額に係 る財源充当額			
第1款 資本的収入	円	円	円	円	円	円	企業債内訳 予算額 収入額 予算残額 2,789,700,000円
第1項 企業債	6,015,387,000	435,551,000	6,450,938,000	366,412,000	6,817,350,000	△ 3,221,871,260	翌年度繰越財源額 750,200,000円
第2項 出資	5,580,300,000	115,100,000	5,695,400,000	330,900,000	6,026,300,000	△ 2,789,700,000	30年度不用額 2,039,500,000円
第3項 補助金	156,148,000	0	156,148,000	0	156,148,000	△ 2,887	
第4項 受託建設収入	12,467,000	320,451,000	332,918,000	0	332,918,000	△ 297,241,000	
第5項 工事負担金	139,272,000	0	139,272,000	0	139,272,000	△ 91,194,942	(うち、仮受消費税及び地方消費税 3,561,264円)
	127,200,000	0	127,200,000	35,512,000	162,712,000	△ 43,732,431	

支 出

区 分	予 算 額				決算額	翌年度繰 越額	不 用 額	備 考
	当初予算額	補正予算額	流用 増減 額	小 計				
第1款 資本的支出	円	円	円	円	円	円	円	
第1項 建設改良費	15,037,243,000	400,324,000	0	15,437,567,000	534,437,000	1,072,601,000	3,284,488,627	
第2項 企業償還金	9,438,690,000	400,324,000	0	9,839,014,000	534,437,000	1,072,601,000	3,269,590,108	(うち、仮払消費税及び地 方消費税 331,858,821円)
第3項 補助金返還金	5,596,888,000	0	0	5,596,888,000	0	0	13,974,260	
	1,665,000	0	0	1,665,000	740,741	0	924,259	

注：資本的収入額が、資本的支出額に対して不足する額8,019,435,633円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,139,762円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額326,156,384円、当年度分損益勘定留保資金6,508,248,196円及び建設改良積立金1,182,891,291円をもって補填した。

平成30年度広島市水道事業損益計算書
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位 円)

1 営業収益

(1) 給水収益	19,040,444,597	
(2) 受託工事収益	346,503,475	
(3) その他の営業収益	<u>1,386,986,372</u>	20,773,934,444

2 営業費用

(1) 原水費	763,361,115	
(2) 共同原水費	549,225,674	
(3) 浄水費	1,499,799,769	
(4) 配水費	4,421,789,988	
(5) 給水費	993,049,632	
(6) 受託工事費	384,566,756	
(7) 業務費	1,786,303,811	
(8) 総係費	1,137,006,001	
(9) 減価償却費	8,238,743,290	
(10) 資産減耗費	<u>809,143,919</u>	20,582,989,955

営業利益

190,944,489

3 営業外収益

(1) 受取利息	794,627	
(2) 補助金	394,476,371	
(3) 長期前受金戻入	1,915,118,792	
(4) 負担金	23,817,000	
(5) 施設整備納付金	696,155,000	
(6) 雑収益	<u>92,366,910</u>	3,122,728,700

4 営業外費用

(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	1,348,998,479	
(2) 雑支出	<u>6,885,834</u>	1,355,884,313
経常利益		<u>1,766,844,387</u>
		1,957,788,876

5 特別利益

(1) 過年度損益修正益	1,151,428	
(2) 長期前受金戻入	<u>44,079</u>	1,195,507

6 特別損失

(1) 減損損失	44,439,096	
(2) 過年度損益修正損	<u>22,686,520</u>	67,125,616

当年度純利益

1,891,858,767

前年度繰越利益剰余金

0

その他未処分利益剰余金変動額

1,182,891,291

当年度未処分利益剰余金

3,074,750,058

平成30年度広島市水道事業剰余金計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位 円)

	剰余金										資本合計
	資本					剰余金					
	国庫(県)補助金	工事負担金	受贈財産評価額	一般会計補助金	その他資本剰余金	建設改良積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金合計	資本剰余金合計	利益剰余金合計	
前年度末残高	114,598,585	1,710,321,472	3,347,224,304	4,417,929	46,659,005	6,318,134,368	3,649,063,293	9,967,197,661	101,432,608,703		
前年度処分額	0	0	0	0	0	2,114,439,150	△ 3,649,063,293	△ 1,534,624,143	0		
議会の議決による処分額	0	0	0	0	0	2,114,439,150	△ 3,649,063,293	△ 1,534,624,143	0		
建設改良積立金の積立	0	0	0	0	0	2,114,439,150	△ 2,114,439,150	0	0		
資本金への組入れ	0	0	0	0	0	0	△ 1,534,624,143	△ 1,534,624,143	0		
処分後残高	114,598,585	1,710,321,472	3,347,224,304	4,417,929	46,659,005	8,432,573,518	0	8,432,573,518	101,432,608,703		
当年度変動額	156,145,113	0	0	0	0	△ 1,182,891,291	3,074,750,058	1,891,858,767	2,048,003,880		
一般会計出資金の受入れ	156,145,113	0	0	0	0	△ 1,182,891,291	0	0	156,145,113		
建設改良積立金の取崩し	0	0	0	0	0	△ 1,182,891,291	1,182,891,291	0	0		
当年度純利益	0	0	0	0	0	0	1,891,858,767	1,891,858,767	1,891,858,767		
当年度末残高	114,598,585	1,710,321,472	3,347,224,304	4,417,929	46,659,005	7,249,682,227	(当年度末処分利益剰余金) 3,074,750,058	10,324,432,285	103,480,612,583		

平成30年度広島市水道事業剰余金処分計算書

(単位 円)

	資本	剰余金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	87,932,959,003		5,223,221,295	3,074,750,058
議会の議決による処分額	1,182,891,291		0	△ 3,074,750,058
建設改良積立金の積立	0		0	△ 1,891,858,767
資本金への組入れ	1,182,891,291		0	△ 1,182,891,291
処分後残高	89,115,850,294		5,223,221,295	(繰越利益剰余金) 0

平成30年度広島市水道事業貸借対照表
(平成31年3月31日)

(単位 円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有形固定資産

イ 土 地		14,738,751,692	
ロ 立 木		381,167,382	
ハ 建 物	17,452,496,490		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 9,946,306,737</u>	7,506,189,753	
ニ 構 築 物	302,311,051,208		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 155,586,072,127</u>	146,724,979,081	
ホ 機 械 及 び 装 置	42,570,036,737		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 30,527,335,790</u>	12,042,700,947	
ヘ 車 両 運 搬 具	101,272,885		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 76,510,881</u>	24,762,004	
ト 工 具 ・ 器 具 及 び 備 品	769,134,718		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 547,065,714</u>	222,069,004	
チ リ ー ス 資 産	376,465,400		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 99,689,130</u>	276,776,270	
リ 建 設 仮 勘 定		<u>1,603,166,519</u>	
有 形 固 定 資 産 合 計			183,520,562,652

(2) 無形固定資産

イ ダ ム 使 用 権		26,509,104,361	
ロ 水 利 権		2	
ハ 地 上 権		14	
ニ 施 設 利 用 権		450,060,399	
ホ 営 業 権		1	
ヘ 電 話 加 入 権		<u>33,825,471</u>	
無 形 固 定 資 産 合 計			26,992,990,248

(3) 投資その他の資産

イ 出 資 金		25,100,000	
ロ 破 産 更 生 債 権 等	133,473,655		
貸 倒 引 当 金	<u>△ 133,473,655</u>	0	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計			<u>25,100,000</u>

固 定 資 産 合 計 210,538,652,900

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金		10,460,926,542	
(2) 未 収 金	2,612,850,973		
貸 倒 引 当 金	<u>△ 66,085,855</u>	2,546,765,118	
(3) 有 価 証 券		6,000,000	
(4) 貯 蔵 品		697,575,941	
(5) 前 払 金		523,758,552	
(6) その他流動資産		<u>6,590,084</u>	

流 動 資 産 合 計 14,241,616,237

資 産 合 計 224,780,269,137

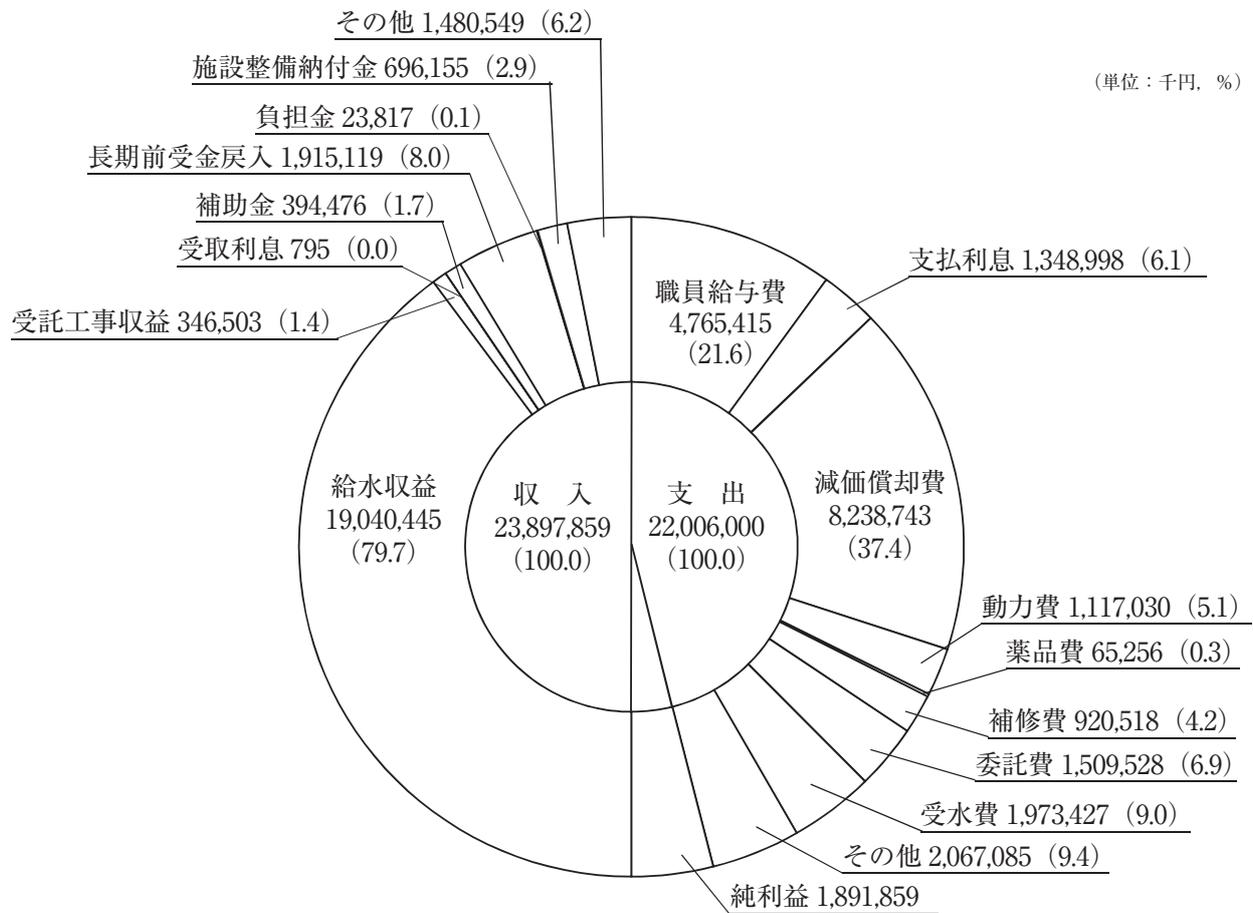
負 債 の 部

3 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	<u>64,077,730,763</u>		
企業債合計		64,077,730,763	
(2) リース債務		221,241,228	
(3) 引当金			
イ 退職給付引当金	<u>5,421,286,681</u>		
引当金合計		<u>5,421,286,681</u>	
固定負債合計			69,720,258,672
4 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	<u>5,587,544,583</u>		
企業債合計		5,587,544,583	
(2) リース債務		77,677,142	
(3) 未払金		3,150,092,618	
(4) 前受金		19,868,088	
(5) 引当金			
イ 賞与引当金	<u>285,582,520</u>		
引当金合計		<u>285,582,520</u>	
(6) その他流動負債		<u>584,809,025</u>	
流動負債合計			9,705,573,976
5 繰延収益			
(1) 長期前受金			
イ 国庫(県)補助金	15,480,216,281		
収益化累計額	<u>△ 5,666,063,202</u>	9,814,153,079	
ロ 工事負担金	44,713,745,041		
収益化累計額	<u>△ 27,198,645,355</u>	17,515,099,686	
ハ 受贈財産評価額	37,267,664,772		
収益化累計額	<u>△ 23,204,743,939</u>	14,062,920,833	
ニ 一般会計補助金	119,664,075		
収益化累計額	<u>△ 70,087,944</u>	49,576,131	
ホ その他長期前受金	1,166,155,414		
収益化累計額	<u>△ 734,081,237</u>	<u>432,074,177</u>	
長期前受金合計		<u>41,873,823,906</u>	
繰延収益合計			<u>41,873,823,906</u>
負債合計			<u>121,299,656,554</u>

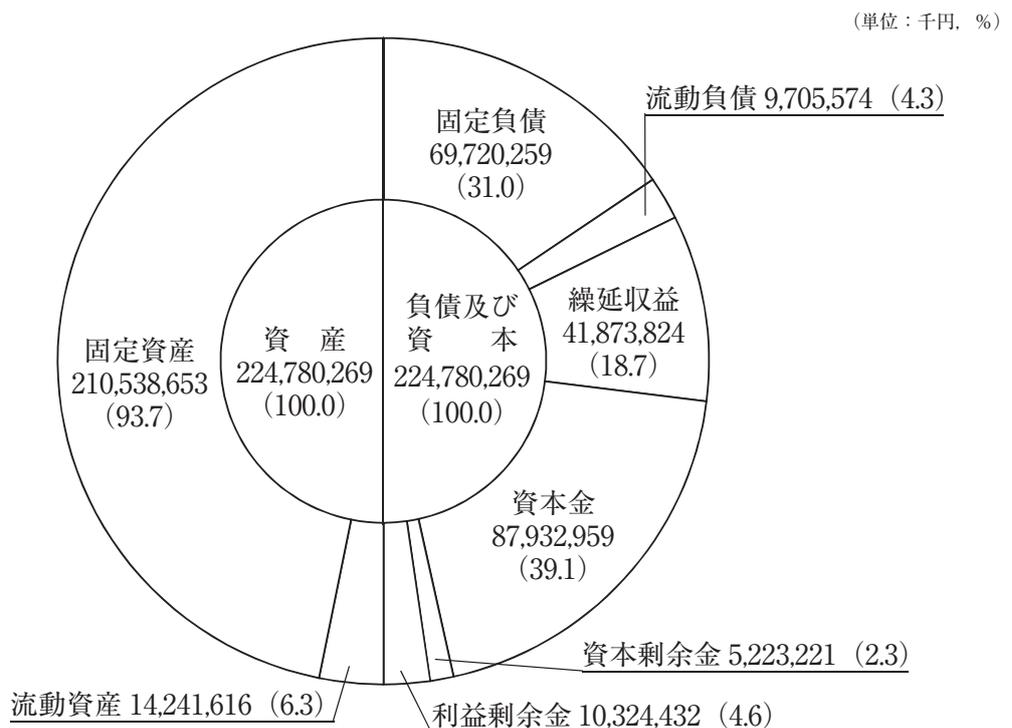
資 本 の 部

6 資本金			87,932,959,003
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 国庫(県)補助金	114,598,585		
ロ 工事負担金	1,710,321,472		
ハ 受贈財産評価額	3,347,224,304		
ニ 一般会計補助金	4,417,929		
ホ その他資本剰余金	<u>46,659,005</u>		
資本剰余金合計		<u>5,223,221,295</u>	
(2) 利益剰余金			
イ 建設改良積立金	7,249,682,227		
ロ 当年度未処分利益剰余金	<u>3,074,750,058</u>		
利益剰余金合計		<u>10,324,432,285</u>	
剰余金合計			<u>15,547,653,580</u>
資本合計			<u>103,480,612,583</u>
負債資本合計			<u>224,780,269,137</u>

平成30年度広島市水道事業損益収支図表



平成30年度広島市水道事業貸借対照図表



令和元年度第1回 広島市下水道事業の業務状況

1 事業の概況

(1) 令和元年度上半期（平成31年4月1日から令和元年9月30日まで）における処理水量等の状況

当期における処理水量は、8,085万8,071立方メートルで、これを前年同期の処理水量8,558万5,144立方メートルと比較すると、472万2,443立方メートル（5.5%）の減少となっています。

これは、降雨量が前年同期と比べて減少したことなどによるものです。

下水道使用料の徴収対象となる有収水量につきましては、5,976万1,891立方メートルで、前年同期と比較すると、39万5,884立方メートル（0.7%）の減少となっています。

水洗化の状況につきましては、整備区域の拡大と普及促進の結果、当期末における水洗化世帯数は53万5,215世帯で、前年同期と比較すると7,032世帯（1.3%）の増加となっています。

処理水量等の比較

区 分	令和元年度 上半期	平成30年度 上半期	比 較	
			増 △ 減	増減率%
処理水量 (m ³)	80,858,071	85,580,514	△ 4,722,443	△ 5.5
一日平均処理 水量 (m ³)	441,848	467,654	△ 25,806	△ 5.5
有収水量 (m ³)	59,761,891	60,157,775	△ 395,884	△ 0.7
処理区域内世 帯数 (世帯)	547,499	541,780	5,719	1.1
水洗化世帯数 (世帯)	535,215	528,183	7,032	1.3
水洗化率 (%)	97.8	97.5	0.3	-

(2) 令和元年度施行予定の工事の状況

ア 公共下水道整備事業

本事業は、市民生活の環境の改善、浸水の防除及び公共用水域の水質保全を図るため、公共下水道施設を整備するもので、本年度は、事業費259億5,539万3,000円（前年度からの繰越額107億3,000万円を含む。）で、八木・緑井、旭町、宇品等46地区で総延長3万160メートルの管きよ布設工事及び改良工事を行い、また、ポンプ場等32箇所及び水資源再生センター4箇所の整備を行うこととしています。

イ 排水設備整備事業

収益的収支予算の執行状況

(収入)

区 分	令 和 元 年 度		執行率	前年同期収入額	比 較	
	予 算 額	今期収入額			増 △ 減	増減率
下 水 道 事 業 収 益	円 45,775,133,000	円 24,755,681,127	% 54.1	円 25,688,673,390	円 △ 932,992,263	% △ 3.6
営 業 収 益	36,028,430,000	24,600,529,310	68.3	25,446,301,230	△ 845,771,920	△ 3.3

本事業は、管きよの移設、排水設備と下水管との接続及び雨水樹と下水管との接続等を施行するもので、本年度は、事業費11億1,867万4,311円（前年度からの繰越額4億741万7,431円を含む。）で関連施設の整備を行うこととしています。

ウ 都市下水道整備事業

本年度は、事業費18万2,000円で、東区の一部地区の雨水が流入する府中町の都市下水道事業に対し、その費用の一部を負担することとしています。

エ 流域下水道整備事業

本年度は、広島県が施行する太田川流域下水道整備事業に対し、2億1,681万1,000円を負担することとしています。

オ 諸設備新設改良事業

本事業は、ポンプ場施設、水資源再生施設等諸設備の新設・改良を行う事業で、本年度は、事業費1億1,383万5,000円で整備を行うこととしています。

カ 市街化区域外污水处理施設整備事業

本事業は、市街化区域外における市民生活の環境の改善等を図るため、污水处理施設等を整備するもので、本年度は、事業費9億9,047万1,800円（前年度からの繰越額2億6,966万9,800円を含む。）で、特定環境保全公共下水道整備として、安佐、可部等7地区の下水管きよの布設1,460メートルを行い、農業集落排水施設整備として、戸山及び白木地区の下水管きよの布設1,440メートル及び排水処理施設12箇所の整備を行い、また、市営浄化槽整備として、浄化槽30箇所の整備を行うこととしています。

2 経理の状況

令和元年度上半期の経理の状況は、次のとおりです。

(1) 収益的収支の状況

当期の収益的収入は、247億5,568万1,127円で、前年同期と比較すると、9億3,299万2,263円（3.6%）の減少となっています。

この主な理由は、一般会計負担金の減少によるものです。

一方、収益的支出は、204億5,447万9,631円で、前年同期と比較すると、2億4,983万1,163円（1.2%）の増加となっています。

この主な理由は、委託料の増加によるものです。

下水道使用料	21,740,647,000	10,382,066,729	47.8	10,554,961,726	△ 172,894,997	△ 1.6
一般会計負担金	14,115,700,000	14,115,700,000	100.0	14,813,363,000	△ 697,663,000	△ 4.7
その他営業収益	172,083,000	102,762,581	59.7	77,976,504	24,786,077	31.8
営業外収益	9,743,827,000	154,357,110	1.6	240,178,046	△ 85,820,936	△ 35.7
受取利息	113,000	0	0.0	0	0	-
負担金	102,580,000	0	0.0	0	0	-
一般会計補助金	141,462,000	141,462,000	100.0	197,555,000	△ 56,093,000	△ 28.4
長期前受金戻入	9,438,051,000	0	0.0	0	0	-
雑収益	61,621,000	12,895,110	20.9	42,623,046	△ 29,727,936	△ 69.7
特別利益	2,876,000	794,707	27.6	2,194,114	△ 1,399,407	△ 63.8
過年度損益修正益	2,876,000	783,172	27.2	2,069,264	△ 1,286,092	△ 62.2
その他特別利益	0	11,535	-	124,850	△ 113,315	△ 90.8

(支出)

区 分	令和元年度		執行率	前年同期支出額	比 較	
	予 算 額	今期支出額			増 △ 減	増減率
	円	円	%	円	円	%
下水道事業費用	44,352,941,517	20,454,479,631	46.1	20,204,648,468	249,831,163	1.2
営業費用	37,016,533,517	17,166,689,627	46.4	16,542,555,399	624,134,228	3.8
人件費	2,624,977,000	1,116,352,115	42.5	1,079,772,343	36,579,772	3.4
委託料	4,809,288,544	2,244,917,799	46.7	1,891,950,736	352,967,063	18.7
動力費	576,846,000	271,899,003	47.1	278,721,202	△ 6,822,199	△ 2.4
減価償却費	26,119,689,000	13,059,844,500	50.0	12,920,954,000	138,890,500	1.1
その他	2,885,732,973	473,676,210	16.4	371,157,118	102,519,092	27.6
営業外費用	7,308,149,000	3,282,033,948	44.9	3,657,579,590	△ 375,545,642	△ 10.3
支払利息及び 企業債取扱諸費	6,657,494,000	3,282,033,948	49.3	3,656,300,641	△ 374,266,693	△ 10.2
消費税及び地方消費税	650,638,000	0	0.0	0	0	-
雑支出	17,000	0	0.0	1,278,949	△ 1,278,949	△ 100.0
特別損失	8,259,000	5,756,056	69.7	4,513,479	1,242,577	27.5
予備費	20,000,000	0	0.0	0	0	-

(2) 資本的収支の状況

当期の資本的収入は、114億7,171万1,724円で、前年同期と比較すると、3億590万6,729円(2.7%)の増加となっています。

この主な理由は、借換債の増加によるものです。

一方、資本的支出は、178億474万6,748円で、前年同期と比較すると、54億9,947万3,582円(23.6%)の減少となっています。

この主な理由は、企業債償還金の減少によるものです。

資本的収支予算の執行状況

(収入)

区 分	令和元年度		執行率	前年同期収入額	比 較	
	予 算 額	今期収入額			増 △ 減	増減率
	円	円	%	円	円	%
資本的収入	40,444,639,000	11,471,711,724	28.4	11,165,804,995	305,906,729	2.7
建設企業債	17,649,000,000	0	0.0	0	0	-
借換債	11,334,400,000	5,847,700,000	51.6	4,320,900,000	1,526,800,000	35.3
一般会計出資金	5,494,503,000	5,494,503,000	100.0	6,661,829,000	△ 1,167,326,000	△ 17.5
国庫補助金	5,014,700,000	0	0.0	0	0	-
工事受託金	98,631,000	36,259,912	36.8	35,338,254	921,658	2.6
受益者負担金	20,460,000	11,595,785	56.7	19,041,826	△ 7,446,041	△ 39.1
受益者分担金	56,176,000	36,621,580	65.2	67,189,808	△ 30,568,228	△ 45.5
工事負担金	726,223,000	12,861,836	1.8	15,152,720	△ 2,290,884	△ 15.1

一般会計借入金	5,402,000	5,402,000	100.0	9,886,000	△ 4,484,000	△ 45.4
貸付金回収金	40,052,000	26,333,000	65.7	35,581,000	△ 9,248,000	△ 26.0
固定資産売却代金	5,092,000	434,611	8.5	886,387	△ 451,776	△ 51.0

(支出)

区 分	令和元年度		執行率	前年同期支出額	比 較	
	予 算 額	今期支出額			増 △ 減	増減率
	円	円	%	円	円	%
資 本 的 支 出	71,236,422,231	17,804,746,748	25.0	23,304,220,330	△ 5,499,473,582	△ 23.6
建設改良費	28,418,344,231	2,653,997,691	9.3	3,046,458,536	△ 392,460,845	△ 12.9
公共下水道整備費	25,955,393,000	2,229,948,950	8.6	2,466,993,057	△ 237,044,107	△ 9.6
受益者負担金業務費	17,581,000	5,484,535	31.2	5,263,711	220,824	4.2
排水設備整備費	1,118,670,431	217,133,454	19.4	210,128,069	7,005,385	3.3
都市下水路整備費	182,000	86,667	47.6	87,106	△ 439	△ 0.5
流域下水道整備費	216,811,000	22,398,823	10.3	58,505,733	△ 36,106,910	△ 61.7
諸設備新設改良費	113,835,000	6,523,740	5.7	8,452,404	△ 1,928,664	△ 22.8
建設利息	5,400,000	2,700,000	50.0	15,700,000	△ 13,000,000	△ 82.8
市街化区域外 污水处理施設整備費	990,471,800	169,721,522	17.1	281,328,456	△ 111,606,934	△ 39.7
償 還 金	42,776,760,000	15,145,472,057	35.4	20,250,693,794	△ 5,105,221,737	△ 25.2
企業債償還金	42,605,237,000	15,059,710,557	35.3	20,164,932,294	△ 5,105,221,737	△ 25.3
企業債償還積立金	171,523,000	85,761,500	50.0	85,761,500	0	0.0
貸 付 金	41,318,000	5,277,000	12.8	7,068,000	△ 1,791,000	△ 25.3
水洗便所改造資金貸付金	24,402,000	3,777,000	15.5	4,594,000	△ 817,000	△ 17.8
し尿浄化槽廃止 資金貸付金	16,916,000	1,500,000	8.9	2,474,000	△ 974,000	△ 39.4

3 資産、企業債、長期借入金及び一時借入金の現在高
令和元年9月30日現在における本事業の資産、企業債、長期借入金及び一時借入金の現在高は、次のとおりです。

- (1) 資産の現在高
 - ア 固定資産 8,091億4,108万 16円
 - イ 流動資産 185億7,070万8,625円
 - 計 8,277億1,178万8,641円
- (2) 企業債の現在高 4,143億 134万8,694円
- (3) 長期借入金の現在高 3,316万9,000円
- (4) 一時借入金の現在高 0円

4 平成30年度決算の状況

(1) 事業の概況

ア 公共下水道整備事業

管きよ整備については、八木・緑井、千田、吉島、宇品地区等で総延長2万615メートルの布設工事及び改良工事を行い、未整備地区の処理区域を16ヘクタール拡大しました。

ポンプ場整備については、旭町雨水滞水管、新宇品ポンプ場の建設工事や、戸坂中島、大州、庚午ポンプ場等の改良工事を行いました。

水資源再生センター整備については、西部、旭町、千田、江波水資源再生センターの改良工事を行いました。

イ 市街化区域外污水处理施設整備事業

特定環境保全公共下水道整備として、安佐、小河原、瀬

野、湯来地区等で総延長3,089メートルの管きよ布設工事、中河内ポンプ場の建設工事を行い、農業集落排水施設整備として、戸山地区等で総延長1,308メートルの管きよ布設工事、阿戸農業集落排水処理施設等の機能診断及び小河内農業集落排水処理施設等の改良工事を行い、市営浄化槽整備として、浄化槽16箇所の設置工事を行いました。

(2) 収益的収支の状況

当年度の収益的収入は462億9,044万9,427円で、前年度と比較して1.3パーセントの減少となり、収益的支出は443億2,070万2,208円で、前年度と比較して0.3パーセントの減少となりました。

この結果、収益的収支は19億6,974万7,219円となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額5億9,084万5,102円を除いた純利益は13億7,890万2,117円となりました。

(3) 資本的収支の状況

当年度の資本的収入の362億1,396万1,003円から、翌年度繰越充当財源額6億5,065万4,231円を除いた額に対し、資本的支出は548億3,003万5,366円となり、差引き192億6,672万8,594円の資金不足となりました。

この不足額は、当年度分損益勘定留保資金等で補填しています。

平成30年度広島市下水道事業決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

収入

区分	予 算 額				合 計	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条 第3項の規定による支出 額に係る財源充当額	地方公営企業法第26条 第2項の規定による繰 越額に係る財源充当額				
第1款 下水道事業収益	46,429,761,000	209,600,000	0	46,639,361,000	46,639,361,000	46,290,449,427	△ 348,911,573	
第1項 営業収益	36,764,263,000	0	0	36,764,263,000	36,311,351,065	9,952,209,075	△ 452,911,935	〔うち、仮受消費税及び地方 消費税 1,617,359,145円〕
第2項 営業外収益	9,662,622,000	209,600,000	0	9,872,222,000	79,987,075	9,952,209,075	79,987,075	〔うち、仮消費税及び地方 消費税 3,181,564円〕
第3項 特別利益	2,876,000	0	0	2,876,000	26,889,287	26,889,287	24,013,287	〔うち、仮受消費税及び地方 消費税 1,086,562円〕

支出

区分	予 算 額						決 算 額	地方公営企 業法第26条 第2項の規 定による繰 越額	不 用 額	備 考
	当初予算額	補正予算額	予 支 出 額	地方公営企業 法第24条第3 項の規定によ る支出額	流 用 増 減 額	小 計				
第1款 下水道事業費用	44,623,027,000	520,000,000	0	0	0	45,143,027,000	44,320,702,208	286,719,517	535,605,275	
第1項 営業費用	36,587,164,000	520,000,000	16,778,672	0	0	37,123,942,672	36,584,314,172	286,719,517	252,908,983	〔うち、仮払消費税及び地 方消費税 564,060,801円〕
第2項 営業外費用	8,007,604,000	0	0	0	0	8,007,604,000	7,728,805,105	0	278,798,895	〔うち、仮払消費税及び地 方消費税 3,775,159円〕
第3項 特別損失	8,259,000	0	0	0	0	8,259,000	7,582,931	0	676,069	〔うち、仮払消費税及び地 方消費税 429,510円〕
第4項 予備費	20,000,000	0	△ 16,778,672	0	0	3,221,328	0	0	3,221,328	

(注) 第1項 営業費用中、平成30年7月豪雨の復旧費用の財源に充てるため、災害復旧事業債53,000千円を借り入れた。

(収入) (支出)

46,290,449,427円 - 44,320,702,208円 = 1,969,747,219円

当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 △ 590,845,102円

純利益 1,378,902,117円

(2) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	予 算			額			決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	継続費通次繰越額に係る財源充当額	合 計			
第1款 資本的収入	39,048,822,000	1,130,000,000	40,178,822,000	8,058,600,000	0	48,237,422,000	36,213,961,003	△ 12,023,460,997	企業債(建設企業債)の内訳 30年度財源充当額 25,444,200,000円 決 算 額 25,444,200,000円
第1項 企業債	26,506,700,000	580,000,000	27,086,700,000	5,397,300,000	0	32,484,000,000	25,444,200,000	△ 7,039,800,000	
第2項 一般会社	6,661,829,000	0	6,661,829,000	0	0	6,661,829,000	6,219,879,160	△ 441,949,840	30年度不用額 △ 515,700,000円 翌年度繰越財源充当額 △ 6,524,100,000円
第3項 国庫補助金	5,086,000,000	550,000,000	5,636,000,000	2,661,300,000	0	8,297,300,000	3,823,935,500	△ 4,473,364,500	予算額に比べ決算額の増減 △ 7,039,800,000円
第4項 工事受託金	113,409,000	0	113,409,000	0	0	113,409,000	55,791,106	△ 57,617,894	〔うち、仮受消費税及び地方消費税 4,132,674円〕
第5項 負担金	616,807,000	0	616,807,000	0	0	616,807,000	629,508,446	12,701,446	〔うち、仮受消費税及び地方消費税 901,177円〕
第6項 水洗化貸付事業収入	58,985,000	0	58,985,000	0	0	58,985,000	35,891,000	△ 23,094,000	
第7項 固定資産売却代金	5,092,000	0	5,092,000	0	0	5,092,000	4,755,791	△ 336,209	

支 出

区 分	予 算			額			決 算 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	備 考
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費通次繰越額	合 計				
第1款 資本的支出	57,727,114,000	1,130,000,000	58,857,114,000	8,402,769,453	0	67,259,883,453	11,407,087,231	0	1,022,760,856	
第1項 建設改良費	16,022,769,000	1,130,000,000	17,152,769,000	8,402,769,453	0	25,555,538,453	11,407,087,231	0	994,109,039	〔うち、仮払消費税及び地方消費税 903,682,125円〕
第2項 償還金	41,655,370,000	0	41,655,370,000	0	0	41,655,370,000	41,655,367,183	0	2,817	
第3項 水洗化貸付事業費	48,975,000	0	48,975,000	0	0	48,975,000	20,326,000	0	28,649,000	

(注) 資本的収入額(翌年度繰越財源充当額650,654,231円を除く。)が、資本的支出額に対して不足する額19,266,594円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額590,845,102円、繰越工事資金344,169,453円、当年度分損益勘定留保資金16,972,915,032円及び減債積立額1,358,799,007円をもって補填した。

平成30年度広島市下水道事業損益計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位：円)

1 営業収益

(1) 下水道使用料	20,034,039,463	
(2) 一般会計負担金	14,476,369,831	
(3) その他営業収益	<u>183,582,626</u>	34,693,991,920

2 営業費用

(1) 管きよ費	655,577,387	
(2) 水質指導費	61,558,513	
(3) ポンプ場費	2,000,945,418	
(4) 処理場費	4,902,292,623	
(5) 普及促進費	81,845,033	
(6) 水洗化貸付事業費	11,870,165	
(7) 業務費	986,893,129	
(8) 総係費	528,490,066	
(9) 特環公共下水道費	77,300,107	
(10) 農業集落排水費	215,412,331	
(11) 浄化槽費	48,331,005	
(12) 減価償却費	25,852,784,884	
(13) 資産減耗費	<u>596,952,710</u>	<u>36,020,253,371</u>

営業損失

1,326,261,451

3 営業外収益

(1) 受取利息	333,266	
(2) 国庫補助金	82,563,684	
(3) 負担金	110,060,066	
(4) 一般会計補助金	211,867,318	
(5) 長期前受金戻入	9,475,942,562	
(6) 雑収益	<u>69,534,762</u>	9,950,301,658

4 営業外費用

(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	7,124,805,216	
(2) 雑支出	<u>138,982,178</u>	<u>7,263,787,394</u>
経常利益		1,360,252,813

5 特別利益

(1) 過年度損益修正益	14,141,107	
(2) その他特別利益	<u>11,661,618</u>	25,802,725

6 特別損失

(1) 過年度損益修正損	4,585,800	
(2) その他特別損失	<u>2,567,621</u>	<u>7,153,421</u>

当年度純利益

1,378,902,117

前年度繰越利益剰余金

0

その他未処分利益剰余金
変動額1,358,799,007

当年度未処分利益剰余金

2,737,701,124

平成30年度広島市下水道事業剰余金計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

	剰余金										資本合計		
	資本					剰余金							
	受贈財産評価額	国庫補助金	県補助金	補助金	受負担金	受益者負担金	受益者負担金	工事負担金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	減債積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金合計
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
前年度末残高	90,034,047,529	21,432,966,611	223,100,524	202,670,890	3,199,766	4,764,548,971	224,990,853	34,976,684,447	1,358,799,007	2,736,081,845	4,094,880,852	129,105,612,828	
前年度処分量	892,708,962	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
議会の議決による処分量	892,708,962	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
減債積立金の組入れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
資本への組入れ	892,708,962	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
処分量	90,926,756,491	21,432,966,611	223,100,524	202,670,890	3,199,766	4,764,548,971	224,990,853	34,976,684,447	3,202,171,890	2,737,701,124	3,202,171,890	129,105,612,828	
当年度変動額	1,123,385,793	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,076,322,348	
資本剰余金の受入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
減債積立金の取崩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般会社資本	6,219,879,160	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,219,879,160	
当年度純利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度末残高	97,146,635,651	21,432,966,611	223,100,524	202,670,890	3,199,766	5,113,948,458	229,746,644	36,454,225,518	1,843,372,883	2,737,701,124	4,581,074,007	138,181,935,176	

平成30年度広島市下水道事業剰余金処分計算書

	資本	剰余金	資本剰余金	未処分利益剰余金
	円	円	円	円
当年度末残高	97,146,635,651	36,454,225,518	2,737,701,124	2,737,701,124
議会の議決による処分量	1,358,799,007	0	0	0
減債積立金の積立	0	0	0	0
資本金への組入れ	1,358,799,007	0	0	0
処分量	98,505,434,658	36,454,225,518	2,737,701,124	2,737,701,124

平成30年度広島市下水道事業貸借対照表
(平成31年3月31日)

(単位：円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有形固定資産

イ 土 地		52,285,381,034
ロ 建 物	39,485,926,952	
減価償却累計額	<u>△ 24,820,683,881</u>	14,665,243,071
ハ 構 築 物	1,098,279,235,624	
減価償却累計額	<u>△ 432,025,722,706</u>	666,253,512,918
ニ 機 械 及 び 装 置	157,521,859,709	
減価償却累計額	<u>△ 96,790,526,377</u>	60,731,333,332
ホ 車 両 運 搬 具	76,952,351	
減価償却累計額	<u>△ 51,211,600</u>	25,740,751
ヘ 工 具 ・ 器 具 及 び 備 品	153,584,928	
減価償却累計額	<u>△ 114,224,544</u>	39,360,384
ト 建 設 仮 勘 定		<u>6,195,948,911</u>

有形固定資産合計 800,196,520,401

(2) 無形固定資産

イ 地 上 権		623,706
ロ 施 設 利 用 権		6,152,775,014
ハ 電 話 加 入 権		16,510,003
ニ ソ フ ト ウ ェ ア		11,768,000
ホ 著 作 権		<u>1,481,485</u>

無形固定資産合計 6,183,158,208

(3) 投資その他の資産

イ 水 洗 便 所 改 造 資 金 貸 付 金		34,651,000
ロ し 尿 浄 化 槽 廃 止 資 金 貸 付 金		13,081,000
ハ 出 資 金		132,175,000
ニ 破 産 更 生 債 権 等	1,742,242	
貸 倒 引 当 金	<u>△ 1,742,242</u>	<u>0</u>

投資その他の資産合計 179,907,000

固定資産合計

806,559,585,609

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金		12,639,201,104
(2) 未 収 金	2,411,183,349	
貸 倒 引 当 金	<u>△ 145,939,853</u>	2,265,243,496
(3) 有 価 証 券		6,000,000
(4) 前 払 金		<u>2,053,915,126</u>

流動資産合計

16,964,359,726

資 産 合 計

823,523,945,335

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

イ 建 設 改 良 費 等 の 財 源 に 充 て る た め の 企 業 債		379,703,607,719
ロ 償 還 積 立 金		1,200,661,000
ハ そ の 他 の 企 業 債		<u>53,000,000</u>

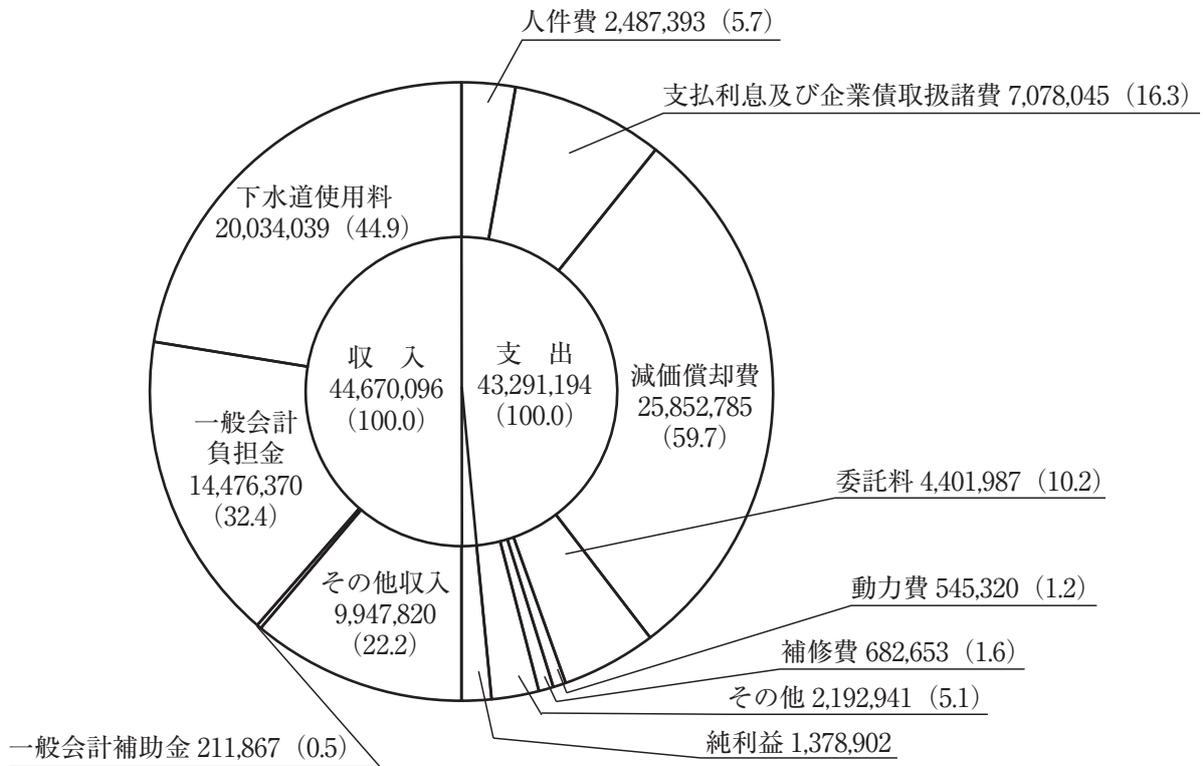
企業債合計

380,957,268,719

イ 減 債 積 立 金	1,843,372,883		
ロ 当年度未処分利益剰余金	<u>2,737,701,124</u>		
利 益 剰 余 金 合 計		<u>4,581,074,007</u>	
剰 余 金 合 計			<u>41,035,299,525</u>
資 本 合 計			<u>138,181,935,176</u>
負 債 資 本 合 計			<u>823,523,945,335</u>

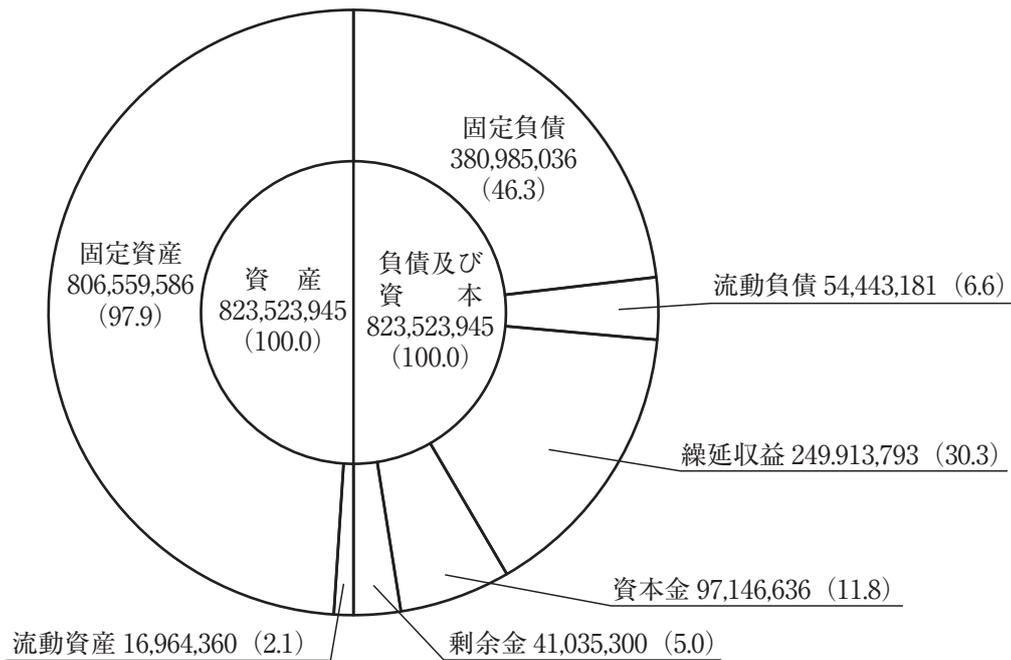
平成30年度広島市下水道事業損益収支図表

(単位：千円，%)



平成30年度広島市下水道事業貸借対照図表

(単位：千円，%)



令和元年度第1回広島市安芸市民病院事業の業務状況

1 事業の概況

令和元年度上半期（自平成31年4月1日至令和元年9月30日）における広島市安芸市民病院事業の概況は、次のとおりです。

(1) 患者の利用状況

今期の入院患者の延数は24,211人で、前年同期に比べ610人（2.6%）増加しました。

また、外来患者の延数は19,974人で、前年同期に比べ1,065人（5.6%）増加しました。

患者数の比較

区分	年度	令和元年度 上半期	平成30年度 上半期	比較	
				増△減	増減率
入院	延数	24,211人	23,601人	610人	2.6%
	一日平均	132.3	129.0	3.3	2.6
外来	延数	19,974	18,909	1,065	5.6
	一日平均	165.1	156.3	8.8	5.6
合計	延数	44,185	42,510	1,675	3.9
	一日平均	297.4	285.3	12.1	4.2

(2) 工事の状況

今期の工事の状況は、次表のとおりです。

工事名	本年度施行内容	本年度工事費	着工年月日	完了年月日
安芸市民病院看護師宿舎敷地側溝整備	同左	円 1,550,880	R15.24	R17.5
合計		1,550,880	-	-

(3) 医療機器の整備状況

今期の医療機器の整備の状況は、該当ありません。

今期の収益的収入は10億2,665万8,602円で、前年同期に比べ1.9%増加しました。

2 経理の状況

令和元年度上半期の予算執行状況は、次のとおりです。

また、収益的支出は8億8,140万8,347円で、前年同期に比べ1.1%減少しました。

(1) 収益的収支の状況

収入

区分	令和元年度			前年同期収入	比較	
	予算額	収入額	執行率		増△減	増減率
病院事業収益	円 2,132,082,000	円 1,026,658,602	% 48.2	円 1,007,889,077	円 18,769,525	% 1.9
医療収益	1,886,680,000	938,705,856	49.8	919,490,708	19,215,148	2.1
入院収益	1,353,124,000	688,929,847	50.9	672,468,132	16,461,715	2.4
外来収益	435,738,000	198,226,378	45.5	194,754,355	3,472,023	1.8
その他医療収益	97,818,000	51,549,631	52.7	52,268,221	△ 718,590	△ 1.4
医療外収益	245,401,000	87,838,692	35.8	88,248,713	△ 410,021	△ 0.5
特別利益	1,000	114,054	-	149,656	△ 35,602	△ 23.8

支出

区分	令和元年度			前年同期支出	比較	
	予算額	支出額	執行率		増△減	増減率
病院事業費	円 2,131,417,000	円 881,408,347	% 41.4	円 890,986,103	円 △ 9,577,756	% △ 1.1
医療費用	2,090,521,000	864,692,354	41.4	872,810,853	△ 8,118,499	△ 0.9
給与費	11,205,000	4,799,285	42.8	4,045,803	753,482	18.6
経費	1,968,344,000	859,893,069	43.7	868,765,050	△ 8,871,981	△ 1.0
その他	110,972,000	0	0.0	0	0	-
医療外費用	32,896,000	12,500,822	38.0	13,409,349	△ 908,527	△ 6.8
特別損失	3,000,000	4,215,171	140.5	4,765,901	△ 550,730	△ 11.6
予備費	5,000,000	0	0.0	0	0	-

(2) 資本的収支の状況

今期の資本的収入は1億358万6,000円で、前年同期に比べ1.7%増加しました。

また、資本的支出は8,367万9,551円で、前年同期に比べ2.9%増加しました。

収入

区 分	令和元年度			前年同期収入	比 較	
	予 算 額	収 入 額	執行率		増 △ 減	増減率
資 本 的 収 入	円 231,847,000	円 103,586,000	% 44.7	円 101,818,000	円 1,768,000	% 1.7
企 業 債	128,261,000	0	0.0	0	0	-
負 担 金	103,586,000	103,586,000	100.0	101,818,000	1,768,000	1.7

支出

区 分	令和元年度			前年同期支出	比 較	
	予 算 額	支 出 額	執行率		増 △ 減	増減率
資 本 的 支 出	円 292,972,000	円 83,679,551	% 28.6	円 81,305,901	円 2,373,650	% 2.9
建 設 改 良 費	128,261,000	1,550,880	1.2	0	1,550,880	-
改 良 費	73,232,000	1,550,880	2.1	0	1,550,880	-
資 産 購 入 費	55,029,000	0	0.0	0	0	-
企 業 債 償 還 金	164,711,000	82,128,671	49.9	81,305,901	822,770	1.0

3 資産、企業債及び長期借入金の現在高

令和元年9月30日現在の資産、企業債及び長期借入金の現在高は、次表のとおりです。

区 分	金 額
資 産 の 現 在 高	円 固 定 資 産 3,994,347,126
	流 動 資 産 506,278,897
	計 4,500,626,023
企 業 債 の 現 在 高	1,501,468,288
長 期 借 入 金 の 現 在 高	41,908,733

4 平成30年度決算の状況

平成30年度決算の状況は、次のとおりです。

(1) 収益的収支の状況

事業収益は、20億6,254万5,187円で、前年度と比較して6,928万4,991円(3.3%)減少しました。このうち、入院・外来収益の合計は、17億2,449万5,730円で、入院・外来の年間患者延数の減等により、前年度と比較して8,005万3,136円(4.4%)減少しました。

一方、事業費用は、20億6,455万1,659円で、前年度と比較して6,660万795円(3.1%)減少しました。費用が減少した主な理由は、入院・外来収益の減少に伴い診療報酬交付金が減少したこと等により、負担金補助及び交付金が前年度と比較して7,362万7,810円(3.9%)減少したことなどによるものです。

この結果、収益的収支は200万6,472円の純損失となり、67万7,724円の黒字であった前年度と比較して収支が268万4,196円悪化しました。

(2) 資本的収支の状況

資本的収入は、1億4,341万7,818円に対して、資本的支出は、2億507万7,059円で、差引き6,165万9,241円の資本的収支不足額を生じました。この不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

(3) 欠損金処理の状況

未処理欠損金は、前年度からの繰越欠損金5億5,440万7,161円に当年度純損失200万6,472円を加え、5億5,641万3,633円となりました。この欠損金は、令和元年度に繰り越しました。